

愛知大学における
東三河高大連携事業の取組み
：高校生専門講座実施報告

愛知大学 豊橋教学部長

浅野 俊夫

(愛知大学 文学部教授)

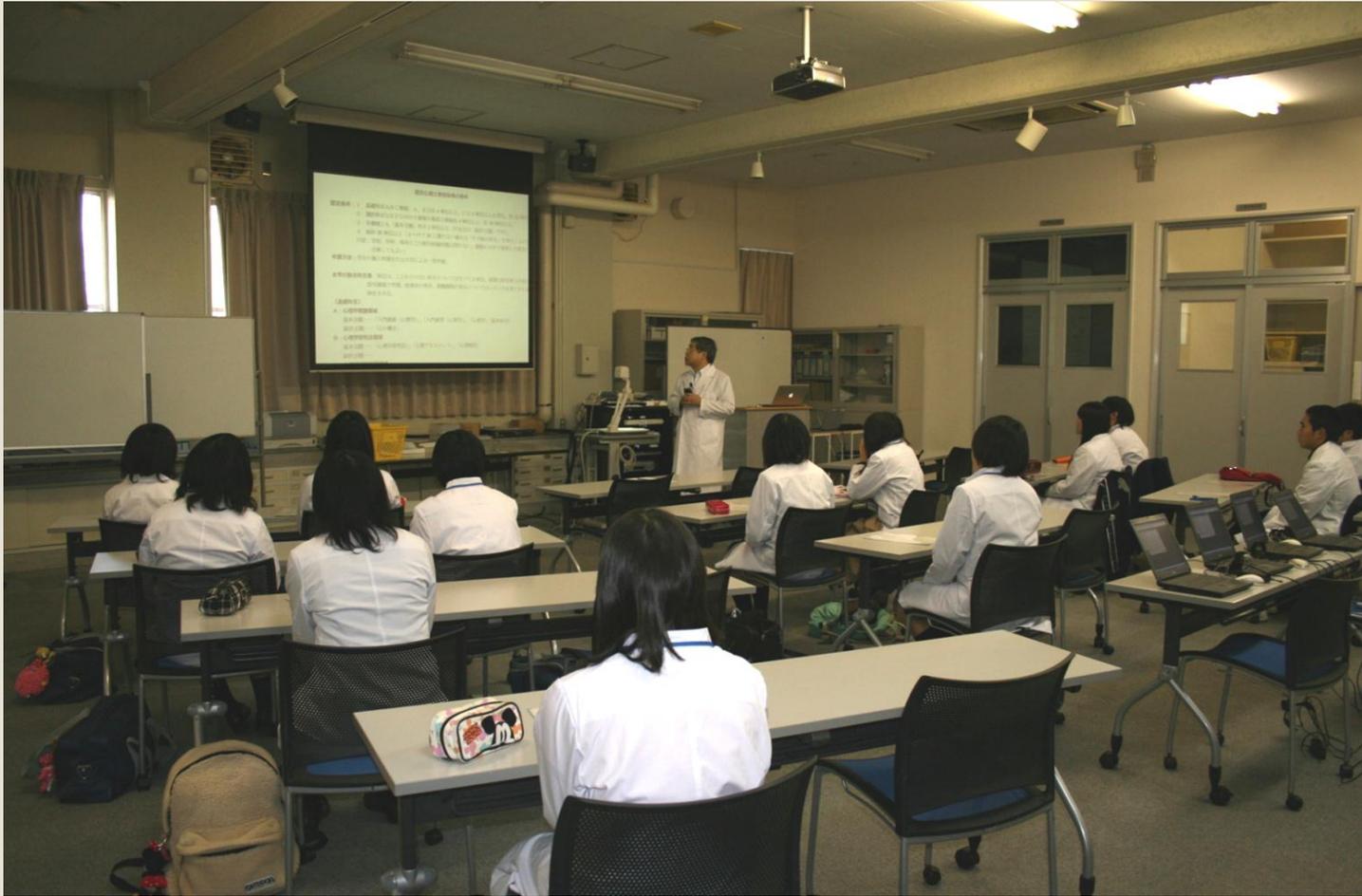
心理学専門講座

- ◆ 日時: 2010年12月18日(土) 9:30~12:30
- ◆ 場所: 愛知大学豊橋校舎 心理学実験室ほか
- ◆ **テーマ: 高校生講座 心理学実験体験**
 - ◆ ①「アイカメラによる注視点の分析」
 - ◆ ②「表情の読み取りと顔の認知」

参加者

- ◆ 御津高校 1年 1名
 - ◆ 成章高校 2年 5名
 - ◆ 国府高校 2年 1名
 - ◆ 豊橋東高校 1年 5名
 - ◆ // 2年 2名
 - ◆ 豊橋聾学校 3年 1名
-
- ◆ **合計15名 うち男子4名、女子11名**
 - ◆ **指導教員 2名、 実験補助員1名**

心理学教育における基礎実験の意義



本専攻における基礎実験内容

- ◆ ミューラー・リヤーの錯視図
- ◆ うそ発見実験
- ◆ 短期記憶
- ◆ 逆転メガネ
- ◆ 触空間
- ◆ 重さの弁別
- ◆ 鏡映描写
- ◆ ストループ効果
- ◆ 要求水準
- ◆ 心的回転
- ◆ 条件反射
- ◆ 証言の信頼性
- ◆ アイカメラ
- ◆ 音源定位
- ◆ 顔のインバージョン
- ◆ 聞き取り調査
- ◆ バイオフィードバック
- ◆ 行動測定
- ◆ プライミング
- ◆ 行動観察

(2010年度:2年生必修科目)

アイカメラによる注視点の分析①

- ◆ 注視点がどのような軌跡をたどるのかを記録し、停留時間や移動軌跡を計測・分析する



アイカメラ実験風景(器材)



アイカメラ実験風景

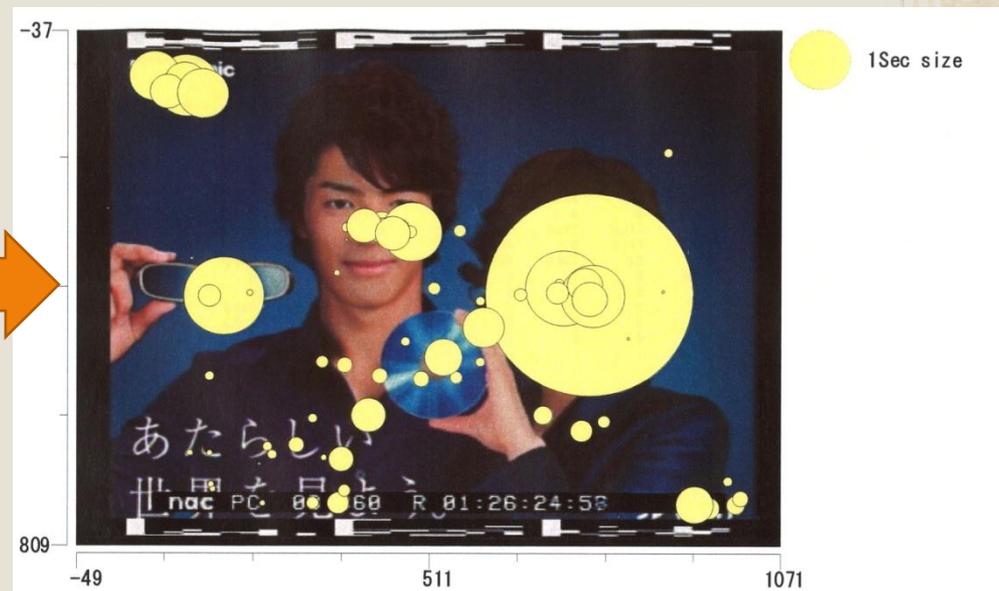


アイカメラによる注視点の分析②

- ◆ 実際の家電メーカーの広告を用い、被験者の停留点や停留時間等を分析・考察を行った



使用画像



実験結果

アイカメラによる注視点の分析③

全員がワリステルさん、Panasonicの文字を見ていた。画面の上側には Panasonic 以外の絵がないから、自然と視線がそこに集まったのかもしれないと思いました。また、2人の人物の停留点時間を比較すると、圧倒的にワリステルさんの方が時間が長がた。今回は被験者が全員女性であったため、同性であるワリステルさんの方が見つめやすかったのかもしれない。被験者に男性がいれば、性別による違いが比べられておもしろそうだと思います。

あと、人物の顔を見る時間が長いということも感じたので、CMやホスターなどで、商品を人物の顔の近くに置くのは商品を長く見せる狙いがあるのかなと思いました。

今回、この実験をやってみて、普段何気なく見ているCMやホスターに細かな意図が含まれていることを知って驚きました。無意識に動かしている視線をある意味操作されている人だなと思っ、て心理学という分野を少し怖いと感じました。

私は文系で大学は福祉関係の学部に進みたいと思っています。子どもや高齢者の方と接する時、体だけでなく心の面にも配慮できるようにしたいと思っ、て、心理学にも興味を持ちました。

今日は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

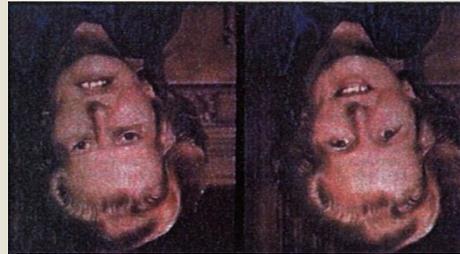
表情の読み取りと顔の認知①

- ◆ ヒトが顔全体の特徴に基づいた知覚を行っており、倒立顔(逆)の場合に、通常の顔の認知が困難になることを実証・分析する



表情の読み取りと顔の認知②

◆ サッチャー錯視



- ◆ 顔写真(倒立顔含む)を見て「悲・無・楽」の3種類を判断、その判断速度と正誤率の結果について考察・分析を行った



表情の読み取りと顔の認知・実験風景



表情の読み取りと顔の認知③

心理学という言葉を知ったことはありますが、どんな内容であるのかは知らなかったのが興味を持ちました。

一番印象に残ったのは錯覚についての話を聞いたことです。

数学には答えが1つでも解き方は何通りもあるというように、

物事の見方は人によって違うということが興味深かったです。

人によって見方が違うのは最初から頭で分かっていたが、

自分が見えているものと全く違うものを他の人は見ているというおもしろさを

この実験で体験しました。

また、上下逆転メガネをつけて歩いてみたり、字を書いてみたりするという

実験にもつい夢中になってしまうほどおもしろかったです。

友達と一緒に遊び感覚で「もし友達100人と何かをすることになったら

何を遊びますか？」という質問にA・B・C・Dと「それが1つ選ぶ」と

その人の心が分かるというゲームをしたことがあります。他にも様々な

実験があると聞いたので、この講座が終わっても心理学について

さらに深く学びたいと思いました。そして相手の気持ちを理解できる

人間になりたいと思いました。

この講座に参加して良かったと思っています。

法学専門講座

- ◆ **日時**: 2011年1月29日(土) 10:00～12:00
- ◆ **場所**: 愛知大学豊橋校舎 6号館611教室

- ◆ **テーマ**: 「ケーキの分け方
～ちょっと違った法学入門～」

- ◆ **概要**: 社会生活の中では、様々な場面で人と人との間のもめごとが生ずる。これらを解決するためには何らかの方法を提示しなければならない。そこに「法」がどのように関わっているのか、「法」の役割を探求する。

参加者

- ◆ 国府高校 2年 1名
- ◆ 時習館高校 1年 1名
- ◆ 豊橋東高校 2年 5名
- ◆ 豊橋南高校 2年 1名
- ◆ // 不明 1名

◆ **合計9名 うち男子4名、女子5名**

◆ **講師：法学部教授 1名**

法学専門講座

1つの問題でいろんな解決方法があることがわかりました。その方法に利点も欠点もあると思うので、どの方法が良いかは、人それぞれだと思いますが、これからめんどろとかあったときは参考にさせていただきます"こう"と思いました。私は3人姉妹の一番上で、普段はゆがってしまうことが多かったので、今日聞いた内容はとてもおもしろかったです。

今まで法学のイメージは固いなっているのが強かったけど、今日お話を聞いてみて、身近な話題でも法って使われているんだ"と思い、イメージが変わりました。

正直、経済学・経営学などの学部も学んでみたいと思っていたけど、法学も学んでみたいな"と思いました。また、どの学部に進むのかは、まだ決まりませんが、今日の話のことを頭に入れて考えてみよう"と思いました。